



認知度向上と品質評価の機会として 八ヶ岳西麓産ワイン試飲会

1月30日、原村のデリ&カフェK(八ヶ岳自然文化園内)にて、令和5年度に「ワイン特区」認定を受けた茅野市・富士見町・原村で生産されるワインの試飲会が開催されました。

試飲会には、茅野市と原村のワイナリー6社が出展し、小売店、飲食店や宿泊施設の関係者のほか、地域の住民の方など約110人が来場され、地域で生産されるワインを楽しむとともに、商談も行われました。

また、試飲に先立って、ソムリエによる、この地域のワインの魅力の解説と各ワイナリーの紹介も行われ、来場者には、地元産ワインの特徴を知る機会ともなりました。

試飲会では、用意されたブースに、新たに2024年に醸造されたばかりのワインも出展され、参加者が出来立てのワインの試飲とともに、生産者との交流を楽しむ様子からは、今後新たな地域ブランド商品として更に醸成していく兆しが感じられました。



保育の質の更なる向上を目指して 茅野市保育研究集会の開催

1月23日、市内保育関係者による保育研究集会が開催されました。

研究集会は、保育の質の向上を目指し、「子ども達のよりよい育ちを願い保育内容を高めよう」をテーマに年に一度開催されており、様々な年代や立場の保育従事者が一堂に集まり、事例研究や保育内容の提案を行っています。

今回は、グループワークを行うなど、保育士・保育教諭の実験の経験や視点を交えて、より具体的な研究協議が行われました。



市内企業と学生の交流会を実施Vol.2 市内企業と公立諏訪東京理科大学の学生が交流

12月18日、公立諏訪東京理科大学にて、市内企業と学生が交流会を開催しました。

当日は、市内企業5社と学生21名が参加し、気軽にお菓子や珈琲を飲みながら、学生と企業側の人事担当者や若手社員が交流を深めました。

企業側からは「今回はたくさんの学生に企業を知ってもらいよかった」「合同説明会や企業見学会よりも学生が参加しやすい良い企画だった」と好評でした。



「日本一きれいな道」にするための活動を評価 「日本風景街道関東優秀活動賞」「特別賞」に信州ビーナスライン茅野を表彰

2月7日、市役所で「日本風景街道 関東優秀活動賞」「特別賞」についての表彰状伝達式が行われました。

この特別賞は、令和5年度に実施した活動を対象に、創意工夫のもと地域の魅力を発展させ、他のルートのも更なる活動推進に繋がる取組みの中で、特に有用な活動に対して贈られるものとなっています。今回は、長い距離や地域にわたるルートで、地域住民や様々な団体と協力して美化活動等を実施している点が高く評価されました。



市内中学校の出場選手たちを激励 全中(スケート大会・スキー大会)出場選手市長表敬訪問

1月27日、令和6年度全国中学校(全中)体育大会の市内中学校の出場選手らが市役所を訪れ、市長および教育長が激励しました。

今大会出場する選手は、スケート大会出場選手13名とスキー大会選手1名の計14名となります。

選手たちは2月1日～4日に長野市エムウェブで開催されるスケート大会と4日～7日に野沢温泉スキー場で開催されるスキー大会にそれぞれ臨みました。



循環型社会の形成を目指して サントリーグループと水平リサイクルに関する協定を締結

1月21日、茅野市・富士見町・原村・諏訪南行政事務組合は、飲料大手のサントリーグループと使用済みのペットボトルを再度ペットボトルにする「ボトルtoボトル」水平リサイクルに関する協定を締結しました。

この協定により、住民から資源物として分別・排出されたペットボトルを市町村が回収し、新たなペットボトルとしてリサイクルされたものをサントリーの飲料製造に使用する仕組みが構築されます。

「ボトルtoボトル」の水平リサイクルでは、再びペットボトルとしてリサイクルされることで、新たに石油由来原料からペットボトルを作るのと比べてCO₂を削減できるメリットがあります。

また、ペットボトルの再生先が明確に「見える化」されることで、今後、住民のリサイクル意識の更なる向上も期待されます。

